

紙容器リサイクル事業普及啓発と環境マークの認知度を上げるためのワークショップ

@浜松東部中学校社会貢献部ワークショップ in 2022.06.04

広報

- ・近所のスーパーや店の目の見えるところに貼ってもらう。
- ・ごみ収集場所に貼っておく。
- ・各学校の放送で言うってもらう。
- ・冊子を配布する。
- ・回覧板や広告などで資料を配布する。

啓発

- ・分別やリサイクルに関する知識を身に付けるために、小中学校で授業をつくる。
- ・学内放送で、ごみの正しい分別の仕方を説明する。
- ・施設や学校に出向いて、3Rに関する説明会を開催する。
- ・環境の現状を掲示して、ごみ減量を訴えかける。
- ・清掃工場に校外学習で来た人たちに伝える。
- ・もえるごみかもえないごみかのクイズを作り、公共施設等に掲示する。

提案

- ・マークを読み取ると回収方法を表示してくれるアプリ開発。
- ・色々なマークを認識し、解説してくれるアプリを作る。
- ・検索機能が付いたごみ分別サイトを作る。
- ・地元の歯医者や学校（社会貢献部）でハブラシを回収。
- ・小中学生でごみ分別やリサイクルに関するクイズをやる。

グッズ

- ・詳しくマークが書かれている下敷きや消しゴム、鉛筆などの文房具を作る。